



所 管	総務部危機管理局危機管理課		
担 当	川上	問い合わせ	0573-26-6805

報 道 機 関 各位

電源自立型GHPを活用した避難所開設研修会の開催 について

令和8年熊本地震をはじめ近年の災害では、避難所における熱中症対策や生活環境の確保が課題となっています。市では、停電時でも使用可能な電源自立型GHP（ガスヒートポンプ方式の空調システム）を市内全ての小中学校体育館に整備しており、平常時は学校施設の空調として利用する他、災害時には避難所の生活環境を維持するための重要な設備となっています。

8月30日（日曜日）に実施する市総合防災訓練に先立ち、職員の避難所開設・運営能力の向上と電源自立型GHPの操作習得を目的とした研修会を開催しますので、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

記

1. 日 時 令和8年8月17日（月）午前9時半～11時半
①避難所開設研修 午前9時半～10時半
②電源自立型GHP操作講習 午前10時半～11時半
2. 場 所 ①武並コミュニティセンター大会議室
②武並小学校体育館
3. 対 象 恵那市職員 約50人
4. 講 師 日本防災士会岐阜県支部 支部長 岩井慶次氏
5. 内 容 (1) 避難所開設（避難所の解錠、安全確認、受付の設置）
(2) 設営・環境整備（居住スペースの区割り、衛生管理）
(3) 運営・情報連携（避難者名簿管理、災害対策本部との情報連携）
(4) 電源自立型GHPの操作（給電、機器接続、炊き出し器操作）



6. その他

電源自立型GHPとは、停電時でも内蔵バッテリーにより運転を開始し、その後はガスエンジンにより、空調、照明、コンセントへの電力供給を継続できる空調設備です。併せて、屋外に設置されたガス非常コックから、炊き出し器などへガスを供給でき、災害時の炊き出しにも活用できます。

- ・令和6年度 市内全小学校（13校）に整備
- ・令和7年度 市内全中学校（4校）に整備